

令和7年度 第1回 笠間市資料館運営委員会 議事録

1 日 時 令和7年5月12日（月） 午前9時55分から 午前11時まで

2 場 所 笠間市役所 議会行政棟2階 2-6会議室

3 出席者 笠間市資料館運営委員会委員 4名
事務局 5名

4 議 題

- (1) 資料館の利用状況について
- (2) 令和6年度事業報告について
- (3) 令和7年度事業計画（案）について
- (4) その他

5 議事内容

(1) 資料館の利用状況について

委員長：資料館の利用状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局：(資料により資料館の利用状況について説明)

委員長：今の説明に関して、ご意見ご質問などございましたらお願いします。

委員長：説明があったことに加えて、歴史民俗資料館のスリッパが新しくなり、とても履きやすくなりました。また、先程の施設カードについてですが、こちらもち帰ることができるようになりました。昨年度から子供たちにも配布していますか。

事務局：学校利用の際にお配りしています。

委員長：施設カードを持つことで、リピーターにつながるのではないかと思います。また、受付簿の書き方が、名前を記入する形式から、市内・市外を選ぶ形式に昨年あたりから変更されましたね。

事務局：昨年4月から変更しました。

委員長：こちらは定着して、良い状態ではないでしょうか。開館日や開館時間も定着し、例えば5月4日（日・祝）も開館していて、水戸から何人か来館されていた状況でした。開館日時の変更が良い結果につながっていると思います。展示資料についても、保存処理に出されていた直刀が戻ってきて展示されており、見ごたえがあります。また、ふるさと資料館が安全に保たれていることも先日、確認しました。郷土資料館についても資料に掲載されていますが、ご意見などございましたらお願いします。

委 員：これまで郷土資料館を利用していた市史研究員が、4月から利用しなくなったことを報告します。実は、岩間地区の市史研究員は私ひとりになり、皆さんに郷土資料館まで来ていただくのは時間的にも不便ですので、旧箱田小学校で全ての活動を行うことにし

ました。今年度になってから、市史研究としては利用していない状況です、

委員長：郷土資料館にもたくさんの資料が収納されています。今お話しされたことは、市史研究員の活動場所としてこれまで郷土資料館を利用していたが、4月からは旧箱田小学校で活動を行うことになったということですね。

委員：郷土資料館の中の整理については、何とかしなければはないと思っており、徐々に進めていければと考えています。建物はかなり傷んでおり、利用するには不便が多いため、解体する方向になるのではないかと思います。ただ、資料をどこに移動して保存するかはまだ決まっていないため、できれば全てをまとめて保存できる形を取っていただきたいと思います。郷土資料館がなくなると、岩間地区には資料館的なものが何もなくなるため、町の人たちにとっては少し寂しいと思います。

ふるさと資料館は、建物そのものが貴重なため保存されていますが、郷土資料館は図書館として利用されていたもので、そのまま保存するような建物ではないという前提があります。そのため、市としてはお金をかけて保存することが難しいのではないのかなと思います。

委員長：原資料とそのコピーが膨大な量あり、本棚や書棚に収納されています。図書館で使っていた書棚にも多くの資料があり、全体としてかなりの量です。また意見などあった際にはお話しください。

歴史民俗資料館では、次のような活用例がありました。展示の中に「伊勢道中記」という、昔の人が旅をした記録があります。安政5年の伊勢道中記をぜひ見たいという方がいて、その許可を得て利用したことがありました。現在は元の状態に戻っており、安全な管理のもとで活用もできる良い例だと思います。

資料館の利用状況についての報告が終わりましたので、次の項目に移ります。

（２）令和6年度事業報告について

委員長：令和6年度の事業報告について、説明をお願いします。

事務局：（資料により令和6年度事業報告について説明）

委員長：ご意見ご質問などいかがでしょうか。

企画展示を行うことは、とても良いことだと思います。私も地元に住んでいるので、歴史民俗資料館を「見に行つて」と伝えても、同じ展示内容では「もう行ったから」で終わってしまいます。しかし、チラシを渡して「今こういう展示を行っているのを見に行つて」と伝えると、「時間を作つて行つてみる」と実際に足を運んでくれた人が何人もいました。歴史民俗に関する資料に加えて、企画展を開催することが来館促進の手立てになると思います。

2階の展示室の突き当りにある証券や金に関する展示ですが、その展示ケースの蛍光管が切れているようです。

事務局：確認します。 ※ 指定管理者により交換済

委員長：蛍光管については、今後製造が途絶える可能性があるようです。

今後のことになりますが、念仏講や地藏講に続いて、次の企画を開催できればと思います。他にご意見などいかがでしょうか。

委員：私は4月に宍戸小学校に来たばかりで、学校の隣に歴史民俗資料館があるので行きたいと思いながらも、まだ行けていない状況です。ぜひ子供たちを連れて見学に行きたいと考えています。

先程、委員長からお話があったように、興味のある人は増えているのかもしれませんが。私もまだ行っていないので分かりませんが、よく整理されているようで、ますます行きたいと思いました。前の話に戻りますが、市外の一般の利用者が520人もいるというのは、毎年そういう傾向にあるのでしょうか。過去10年間の利用人数を見ても、平成27年度の1402人に近づいてきています。昨年度は小学校の利用が4校だったので、全ての小学校3年生が見に来ればよいと思いました。一般の方の中には歴史好きな方も多いのではないかと思いますので、ホームページでPRするなどして、利用者を増やす要素はあると思いました。

事務局：令和5年度の入館者数は711人で、そのうち市外の一般の方が395人でした。やはり市外の方が多く割合で推移していると思います。

委員長：市外の利用者が多い理由のひとつは、歴史民俗資料館が茨城県博物館協会の加盟館となっており、「いばらきミュージアムガイド」に紹介されていることだと思います。加盟館全てを訪れようと思うようなマニアもいるようなので、その中に名を連ねていることは、大きな要因だと思います。また、興味のある方は、県内だけでなく県外、特に東京方面から高速道路を利用して訪れる方もいらっしゃいます。展示資料の数に関しては、他の資料館と比べても引けを取らないと思います。無料で見学いただくわけですが、受付で正直に住所を書いてくれているとすると、埼玉や栃木など遠くから訪れる方もいるようです。

委員長：他に意見などございましたら、また後でお話をお願いします。

(3) 令和7年度事業計画（案）について

委員長：次に、令和7年度事業計画案について、説明をお願いします。

事務局：（資料により令和7年度事業計画（案）について説明）

委員長：ありがとうございます。資料に開館日のカレンダーが含まれていますね。開館予定日数や展示事業について、利用促進、施設の管理など、歴史民俗資料館に関する内容が中心になると思います。

委員長：筑波海軍航空隊記念館を見学した後に歴史民俗資料館を訪れてはどうかという案がよく出ますが、現実にはなかなか難しいですね。

事務局：時折、団体の方が来てくださることはありますが、なかなか難しいようです。

委員長：筑波海軍航空隊記念館の見学が終わり、笠間地区や友部IC方面へ向かうバスを見かけますが、その途中で歴史民俗資料館に停まるのはなかなか難しいと思います。

委員長：茨城県立歴史館で戦争についての展示が行われていましたが、次の展示が「昭和レトロな道具たち」ということです。ちょうど昭和100年を迎えていることもあり、こういった方向付けがされています。この辺りはよろしいでしょうか。案として出されていますので、他に何かございましたらお願いします。

委員：昭和レトロな道具は、館内に点在していますが、まとめて展示するのではなく、現在

の展示の中に組み込むということでしょうか。

事務局：収蔵庫に保管している資料もあるため、展示室2にある程度まとめて展示することを考えています。

委員：展示室2だけでは少し狭いと思います。洗濯機やテレビなどは、子供たちの興味を引くと思うので、大きなものは全体的な展示の中で展示して、小さなものは展示室2まとめて展示する形も良いと思います。少し募集をしてみると、資料が集まるかもしれません。「捨ててしまうつもりなんだけど」と言われて、同じものが既に資料館あるのでとお断りすることもあります。昭和の初めにはあまりなかったかもしれませんが、子供たちが使っていたゲームなどは、かなり古いものをお持ちの方はいらっしゃると思います。おもちゃの変化は子供たちの興味を引くので良いと思います。

委員：私が子供の頃は、ゲームウオッチのような任天堂のゲームがありましたが、今でも人気があるようです。そういったものを展示すれば、子供たちは「こんなに古いものあるのか」と驚くと思います。

委員：フィルムカメラも若い人たちの間で流行っているようで、古いカメラを持っている方もいらっしゃるようです。

委員：高度経済成長とかバブルの時代のもものも、今の子供は見たことがありません。携帯電話が普及している時代に生まれているので、黒電話だけでも驚くと思います。

委員長：電話機のダイヤルを回すことができないんですね。

委員：資料館に電話機はありますね。

委員：私の息子は現在高校生ですが、中学生のときに公衆電話を使えなかったことがありました。携帯電話では番号が表示されますが、緑色の公衆電話からはかけられず、塾に迎えに来てという電話をしたかったようですが、公衆電話が使えなかったため、結局歩いて帰ってきました。受話器を取って、プーという音がするのを確認してから番号を押すことを教えた記憶があります。

委員長：様々な課題がありますが、知恵を絞っていきたいと思います。それでは、以上でよろしいでしょうか。(案)が取れたということで、今後はこのような計画で進めていくということです。

(4) その他

- ・歴史民俗資料館の展示資料と保管資料、郷土資料館の保管資料等について、意見がありました。